

24日 土曜

テサロニケ I

4:1 最後に兄弟たち。主イエスにあってお願いし、また勧めます。あなたがたは、神に喜ばれるためにどのように歩むべきかを私たちから学び、現にそう歩んでいるのですから、ますますそうしてください。

4:2 私たちが主イエスによって、どのような命令をあなたがたに与えたか、あなたがたは知っています。

4:3 神のみこころは、あなたがたが聖なる者となることです。あなたがたが淫らな行いを避け、

4:4 一人ひとりがわきまえて、自分のからだを聖なる尊いものとして保ち、

4:5 神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、

4:6 また、そのようなことで、兄弟を踏みつけたり欺いたりしないことです。私たちが前もってあなたがたに話し、厳しく警告しておいたように、主はこれらすべてのことについて罰を与える方だからです。

4:7 神が私たちを召されたのは、汚れたことを行わせるためではなく、聖さにあずからせるためです。

4:8 ですから、この警告を拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたにご自分の聖霊を与えてくださる神を拒むのです。

4:9 兄弟愛については、あなたがたに書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちで、

4:10 マケドニア全土のすべての兄弟たちに対して、それを実行しているからです。兄弟たち、あなたがたに勧めます。ますます豊かにそれを行いなさい。



4:11 また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をし、自分の仕事に励み、自分の手で働くことを名誉としなさい。

4:12 外の人々に対して品位をもって歩み、だれの世話にもならず生活するためです。

テサロニケ教会の人々が良い歩みをしているので、パウロはさらに聖となるために勧めています。どんなにすばらしい信仰の告白をしても、聖書の奥義に通じていても、聖なることばで教えを口にしても、その行いが主のみこころにかなわないなら、それは生きた信仰ではありません。パウロは生きた信仰になるように、重要な実際面について勧めています。

不品行とは結婚以外の性的な関係で、それはイエス様を唯一の救い主とする信仰に悪影響を及ぼします。兄弟愛が大切ですが、頼るばかりの人には、「働きなさい」と勧めています。この勧めを自分自身に適用してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

